



令和5年度 基本評価調書		所管部局	環境生活部	所管課	文化振興課、道民生活課		
施策名	北海道独自の歴史・文化の発信と継承			施策コード	0315		
政策体系(中項目)	ふるさとの歴史・文化の発信と継承			政策体系コード	3(4)A		
関連重点戦略計画等	知事公約 北海道創生総合戦略					事務事業数	15
特定分野別計画	北海道文化振興指針、総合教育大綱						
SDGs	 	総合判定		やや遅れている			
予算額(千円)	R 5	535,851千円	R 4	543,164千円	R 3	596,759千円	

施策目標	<ul style="list-style-type: none"> 世界遺産に登録された「北海道・北東北の縄文遺跡群」の適切な保存と活用を図るため、国内外に向けてその価値を広く発信するとともに、北の縄文道民会議などとの連携による官民一体となった取組を展開する。 北海道博物館を核として地域の博物館などとも連携し、本道ならではの歴史や文化を発信する取組を推進し、次代に継承する。 市町村や民間企業等の協力を得ながら、「北海道みんなの日」の認知度を高めていく。
現状と課題	<p>(縄文)</p> <ul style="list-style-type: none"> 縄文遺跡群の有する魅力を伝えるため、受入体制やコンテンツの充実が必要である。 縄文遺跡群を適切に保存・管理し、次代に継承するため、情報発信・担い手育成が必要である。 <p>(ふるさとの歴史・文化(北海道博物館))</p> <ul style="list-style-type: none"> 人びとの生活意識や価値観の多様化などにより、物質的・経済的な豊かさだけでなく、日常の暮らしの中にゆとりや潤いといった心の豊かさが一層求められるようになり、文化に対する関心や期待の高まりがあることなどから、本道ならではの歴史や文化を継承、発信する取組を推進する必要がある。 <p>(道みんなの日の啓発)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「北海道みんなの日条例」で定めた“北海道みんなの日”に関する取組は、年々広がりつつあるものの、まだ十分に定着したとは言えない状況にある。
前年度二次評価意見	「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界遺産に登録されたことから、世界遺産の活用のあり方や今後の方向性等を踏まえ、効果的・効率的な執行体制の構築を進めること。
対応状況	縄文遺跡群の適切な保存と活用を推進することができるよう、効果的・効率的な執行体制の構築を進める。

<主な取組>

今年度の取組	<p>(縄文)</p> <ul style="list-style-type: none"> 〔縄文遺跡群世界遺産本部(4道県及び市町)〕国内フォーラム開催、魅力発見・発信事業 〔道及び縄文道民会議〕世界文化遺産登録2周年記念シンポジウム、パネル展、セミナー等普及啓発事業 〔道〕官民連携プラットフォーム運営、拠点機能のあり方の実現に向けた検討、ポータルサイトの多言語化、ボランティアガイド研修・交流、教育旅行誘致、子ども向け絵本の作成、デジタルを活用した周遊促進等 <p>(ふるさとの歴史・文化(北海道博物館))</p> <ul style="list-style-type: none"> 北海道の歴史・文化に関わる「資料の収集・保存」、「展示」、「調査研究および成果の発信」、「教育普及」、「情報発信」 北海道開拓の村の整備及び村の建造物群の3次元点群データによるアーカイブ化 北海道の中核的博物館としての取組 北海道博物館特別展「ユネスコ世界遺産登録記念 北の縄文世界と国宝」の開催(“北海道みんなの日”(愛称:道みんなの日)啓発) 道みんなの日の認知度を高めるための啓発、市町村・関係団体への協力要請
---------------	---

実績と成果	<p>(縄文)</p> <p>[縄文世界遺産登録推進本部]</p> <ul style="list-style-type: none"> 「縄文フォトコンテスト2023」の実施(7月~1月応募期間) <p>[道及び北の縄文道民会議]</p> <ul style="list-style-type: none"> 「北の縄文展2023 6Days in 札幌」を開催(7/29~8/3) 世界文化遺産登録記念シンポジウムを開催予定(8/20) <p>[道]</p> <ul style="list-style-type: none"> 「北の縄文ポータルサイト」による統一的な情報発信(6月運用開始) デジタル技術(NFT)を活用したスタンプラリーを実施予定(秋口以降) <p>(ふるさとの歴史・文化(北海道立総合博物館))</p> <ul style="list-style-type: none"> 北海道の歴史・文化に関わる「資料の収集・保存」「展示」「調査研究および成果の発信」「教育普及」及び「情報発信」(北海道博物館) <p>→総合展示内「クローズアップ展示」等の定期的な更新、企画テーマ点「もっと!あっちこっち湿地」の開催等を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> 北海道開拓の村の整備及び村の建造物群の3次元点群データによるアーカイブ化(開拓の村) <p>→3次元点群データ撮影は事業者と契約作業中。建物内展示整備はR5年度後半に計画。</p> <ul style="list-style-type: none"> 北海道の中核的博物館としての取組(北海道博物館) <p>→北海道博物館大会(R5.7)を実施し、研究大会として「地方博物館から文化観光を考える」というテーマで講演や情報共有等を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> 北海道博物館第9回特別展「ユネスコ世界遺産登録記念 北の縄文世界と国宝」の開催 <p>→7月22日(土)より特別展を開催。7月31日時点の来館者は3,626名。</p> <p>(道みんなの日の啓発)</p> <ul style="list-style-type: none"> 記念事業「北海道みんなの日:U-18メッセージコンクール」を実施(R5.4.3~6.2、応募数2051作品)、多数の応募があり、道みんなの日の周知やに本道の歴史や文化、風土などについての理解と関心を深めることができた。 <p>→記念事業の実施(R3 1回 R4 1回 R5 1回)</p> <ul style="list-style-type: none"> 市町村、関係団体と連携した取組を実施し、道みんなの日の周知に努めた。 →市町村立施設の無料解放・割引(R3 34施設 R4 44施設 R5 39施設) →ホテルと連携し、道みんなの日に合わせた道産食材を使ったメニューの提供(R3 5施設 R4 9施設 R5 9施設) →企業の協力による記念セールなどの実施(R3 9社 R4 8社 R5 6社) →お菓子、お酒メーカーと連携した啓発資材等の配布(R3 30店舗 R4 30店舗 R5 26店舗)
--------------	---

参考HP①	北海道・北東北の縄文遺跡群公式ページ https://jomon-japan.jp/
参考HP②	文化局文化振興縄文世界遺産推進室 https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/bns/jomon/index.html
参考HP③	北の縄文ポータルサイト https://kitano-jomon.jp/

令和5年度 基本評価調書 **【3(4)A_0315】北海道独自の歴史・文化の発信と継承**

〈指標分析〉 ⇒ 成果指標は、原則、取組項目ごとに1つ以上、全体で5つ以下とする

指標名①	増加	千人	R元年度	R3年度	R3年度	最終目標 (R6)	達成率	指標判定
世界遺産所在市町の観光入込数	目標値		—	15,139	15,430	16,011	45.3%	D
	実績値		—	6,791	6,983			

設定理由 世界遺産登録による地域の活性化・交流人口拡大を図ることを目的に、課題である縄文遺跡群の情報発信や受入体制の充実に向けた取組の成果を測る指標として、道内及び道外において世界遺産登録の前年度から登録4年後の観光客入込数増（10%）を設定。

指標公表時期 毎年調査、9月頃公表 **出典（根拠計画等）** 北海道観光入込客数調査報告書（北海道観光局観光振興課）

分析（主な取組と成果）

新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため観光事業が低迷していたことから、目標達成が困難であったものの、今年5月に同感染症が5類へ移行したことを受け、再び多くの方々が北海道を訪れるようになると考えられることから、引き続き地域の賑わいを創出するため、周遊、誘客の促進に向け、世界文化遺産登録2周年記念シンポジウムやリレー展等による普及啓発、「北の縄文ポータルサイト」を活用した情報発信や多言語化、交流会を通じたガイドの育成やデジタル技術（NFT）を活用したスタンプラリーに係る事業を行う。（評価年度の実績値について、R5.7.1時点で公表されていないため達成率は算定不可（参考：R4年度上期実績値：5,694）

指標名②	維持	%	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R7)	達成率	指標判定
北海道博物館の利用者満足度	目標値		80.0	80.0	80.0	80.0	87.6%	C
	実績値		90.9	100.0	70.1			

設定理由 北海道博物館を核とした本道固有の歴史・文化の発信に係る効果的な取組状況を測る指標であり、課題である本道ならではの歴史や文化を継承・発信する取組の推進の成果を測る指標として設定。

指標公表時期 毎年調査、1月頃公表 **出典（根拠計画等）** 北海道総合計画（北海道博物館調査）

分析（主な取組と成果）

R4年度は、第8回特別展として「世界の昆虫展」を開催し入場者は59,544人。また、総合展示室入室者数は64,387人であり令和3年度と比較して28,570人増加した。R4年度の満足度が低下した理由としては、老朽化等による施設整備面において改善すべき点があると推定される。

指標名③	増加	%	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R7)	達成率	指標判定
道みんの日の認知度	目標値		62.7	62.7	62.7	62.7	74.2%	D
	実績値		52.1	62.7	46.5			

設定理由 北海道みんなの日を広く普及させるという北海道みんなの日条例の趣旨を踏まえ、直近で最も高い値（R3）を目標値として設定。

指標公表時期 毎年不定期 **出典（根拠計画等）** 北海道環境生活部調べ

分析（主な取組と成果）

7月17日の「北海道みんなの日（愛称：道みんの日）」を中心に、ポスター・チラシの掲示・配架や公式インスタグラムなどSNSによる発信、市町村等と連携した施設の無料解放や広報誌への掲載、民間企業等の協力を得て啓発品の配布や割引等のサービスの提供により各種取組を進めてきたところだが、令和4年度アンケート調査の道みんの日の認知度は47%弱に留まっている状況。アンケート調査から、道みんの日を知ったきっかけを見ると「ポスター・チラシ」（34%）・「道や市町村の広報誌」（26.9%）・「道立・市町村立施設の無料解放」（23.3%）と比較して「ホームページ」（13.5%）や「SNS」（5.4%）は認知度向上への貢献度が低いことから、貢献度を高めるための活用方法の検討が必要。

指標名④			R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R7)	達成率	指標判定
	目標値						—	—
	実績値							

設定理由

指標公表時期 **出典（根拠計画等）**

分析（主な取組と成果）

指標名⑤			R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R7)	達成率	指標判定
	目標値						—	—
	実績値							

設定理由

指標公表時期 **出典（根拠計画等）**

分析（主な取組と成果）

〈取組分析（連携状況、緊急性・優先性）〉

連携状況	<p>(課題) 縄文遺跡群の有する魅力を伝えるため、関係市町や関係部局との連携により、受入体制やコンテンツの充実を図ることが必要である。また、北海道立総合博物館については北海道の中核博物館として、道内の博物館等との連携や道内の諸課題を踏まえた各機関との連携を進めていくとともに、すぐれた文化資源を多く有する施設として、博物館振興や文化資源を活かした地域の活性化に寄与するため、文化庁や自治体等との連携を進める。 「北海道みんなの日条例」で定めた“北海道みんなの日(愛称:道みんなの日)”に関する取組は、年々広がりつつあるものの、まだ十分に定着したとは言えない状況にあり、庁内はもとより市町村・企業・団体などと連携した取組を進める必要がある。</p>
	<p>(取組) 関係市町と連携し、「北の縄文回廊」、「北の縄文リレー展」での展示や、セミナー及び「北の縄文展2023 6Days in 札幌」を開催した。 北海道立総合博物館については、北海道博物館協会事務局として道教委や日本博物館協会との連携を強め、新たな加盟館獲得等の成果を得ている。道内地域連携では、総合政策部地域創生局地域政策課に事務局を置く「北海道恐竜・化石ネットワーク研究会」や道内外博物館等と連携し、特別企画展「北海道の恐竜」を実現させる等、連携した成果を確認できる。 文化庁の進める文化観光推進事業への参画に取り組んでいる。 道みんなの日については、市町村と連携し市町村立施設の無料開放・割引などの取組や企業等と連携し、道みんなの日に合わせた記念セール等の実施や道産食材を使用したメニューの提供、啓発物品の配布などに取り組んでいる。</p>
緊急性 優先性	<p>(課題) 縄文遺跡群を適切に保存・管理し、次代に継承するため、情報発信・担い手育成が必要である。 北海道博物館は開設50年、開拓の村は40年を迎え、施設老朽化が不可避となる中、長寿命化工事等の対策を進めている。 次年度以降の事業推進やR7年度からの総合博物館としての第3期中期計画・目標施策推進に役立てるため、アンケート調査等により日常的に道民・利用者から意見をいただいております、これらの精査・検討が必要である。 「北海道みんなの日条例」で定めた“北海道みんなの日(愛称:道みんなの日)”に関する取組は、年々広がりつつあるものの、まだ十分に定着したとは言えない状況にあり、引き続き、周知に向けた取組を進める必要がある。</p>
	<p>(取組) 「北の縄文ポータルサイト」により、統一的な情報発信を開始(R5.6運用開始)したほか、遺跡の魅力を伝えるガイドの育成研修を実施(R4.12)した。 北海道立総合博物館については、長寿命化工事等の工程等を踏まえた企画展示の計画を策定する等、施設整備と整合するかたちでの事業計画を策定している。 また、博物館の使命の一つとして定めている「道民による、道民のための博物館」を目指し、外部団体との共同展示や市民参加型の調査研究とその成果の発表、道内各地でのアウトリーチの実施に取り組んでいる。 道みんなの日については、市町村・企業・団体等と連携した取組を行ったほか、道立施設の無料開放、公式インスタグラムでの情報発信や道民参加型(対象:小・中・高校生)の取組である「北海道みんなの日 U-18メッセージコンクール」を実施し、周知を図ったところ。</p>

〈取組分析（その他の統計数値等）〉

□ 成果指標で課題への対応を説明済

統計数値等①	過年度①	過年度②	最新年度
北海道博物館及び開拓の村の利用者数	102,252人(R2)	76,231人(R3)	221,977人(R4)
分析等			
<p>(課題) これまで「北海道博物館の利用者満足度」を指標としてきたが、課題である「本道ならではの歴史や文化を継承、発信する取組を推進」する中で、文化に対する関心や期待の高まりがある状況において、文化発信の拠点となる「北海道博物館の利用者数」が課題に直結する指標となることから新たに追加した。</p>			
<p>(分析等) 令和4年度の利用者数については、第8回特別展「世界の昆虫」が約6万人と過去最大の来場者であったことから、年間の利用者数も増加したものと推定できるが、この一時的な増加と推定できる部分を整理した、いわゆる経常的な総合展示入場者数についても、ほぼコロナ以前(R1年度)に回復しつつあることが認められる。</p>			a
統計数値等②	過年度①	過年度②	最新年度
分析等			
<p>(課題)</p>			
<p>(分析等)</p>			
統計数値等③	過年度①	過年度②	最新年度
分析等			
<p>(課題)</p>			
<p>(分析等)</p>			

〈総合判定〉

指標判定	D	連携状況	○	総合判定	やや遅れている
		緊急性・優先性	○		
		その他の統計数値等	a		

※ 成果指標の指標判定が「D」の指標
 (世界遺産所在市町の観光入込数、道みんの日の認知度)

	対応方針番号	内容
翌年度に向けた対応方針	①	新型コロナウイルス感染症の影響により、観光事業自体が低迷していたことによるものだが、今年5月に同感染症が5類に移行したことから、人流が戻ると考えられるため、縄文世界遺産の有する価値や魅力を伝え、周遊・誘客を促進するため、引き続き、各遺跡の価値の磨き上げや国内外への情報発信に取り組む。(体験メニューの造成やイベント出展によるPR等)
	②	利用者満足度が低下した要因として、老朽化等による施設整備面において利用者からの不満が挙げられていることから、引き続き補修工事を実施することや、文化観光拠点計画の事業において利用者の利便性向上を図る。
	③	令和4年度のアンケート調査から、認知度の向上には「ポスター・チラシ」「広報誌」「道立・市町村立施設の無料開放」が有効である一方、ホームページやSNSの貢献度は低いことから、認知度の向上に向けて、より効果的なポスター・チラシの掲示場所や配架場所の工夫、市町村広報誌への掲載機会の拡充に努めるほか、ホームページの内容の充実やスムーズに閲覧につなぐ工夫、SNSを使った情報発信の拡充に取り組む。 また、周知にあたっては、R5年度に児童生徒を対象として実施した「北海道みんなの日：U-18メッセージコンクール」受賞作品を活用することで、より印象に残る内容とする。

〈二次政策評価〉

二次政策評価	<p>【施策目標の達成状況】 総合計画に掲げる、北海道独自の歴史・文化の発信と次代への継承のため、本道ならではの歴史や文化を継承、発信する取組が重要であり、総合計画の政策目標の実現に向け、取組の一層の推進を検討すること。</p>
	<p>【施策の緊急性・優先性】 「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界遺産に登録されたことから、世界遺産の活用のあり方や今後の方向性等を踏まえ、効果的・効率的な執行体制の構築を進めること。</p>

令和5年度 事務事業評価調査				施策名	北海道独自の歴史・文化の発信と継承	施策コード	0315
----------------	--	--	--	-----	-------------------	-------	------

整理番号	重複施策	経費区分	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	前年度からの 繰越事業費 (千円)	事業費 (千円)	執行体制			フル コスト (千円)	一次政策評価		二次政策評価意見	
								うち 一般財源	本庁	出先機関		人工計	対応 方針 番号		方向性
0801		一般	文化発信拠点づくり推進事業	北海道歴史・文化ポータルサイト及び北海道デジタルミュージアムの運営等、北海道の歴史・文化に関する情報発信に係る業務	文化振興課	0	1,283	1,283	0.5	0.0	0.5	5,203			
0803		投資的経費B	野幌森林公園施設整備費(施設建設事業費)	野幌森林公園の施設改修等に関する業務	文化振興課	0	9,000	9,000	0.0	0.2	0.2	10,568			
0804		維持費	野幌森林公園管理費	北海道博物館及び野幌森林公園の維持運営のための業務	文化振興課	0	3,256	3,256	0.0	0.7	0.7	8,744			
0805		事務	野幌森林公園利用指導業務	野幌森林公園利用者の指導、苦情対応、普及啓発、広報、統計事務等	文化振興課	0	0	0	0.0	0.7	0.7	5,488			
0806		事務	野幌森林公園許認可業務	道立自然公園である野幌森林公園内における各種行為の申請等に係る許認可等業務	文化振興課	0	0	0	0.0	0.3	0.3	2,352			
0807		一般	北海道博物館事業費(情報システム分除く)	北海道博物館の展示事業、教育普及事業等の実施	文化振興課	0	8,113	8,113	0.0	18.3	18.3	151,585			
0808		事務	北海道博物館事業費(情報システム分)	収蔵資料データベースの管理、HP閲覧システムの運用経費	文化振興課	0	0	0	0.0	0.1	0.1	784			
0809		一般	北海道博物館試験研究費	北海道博物館の調査研究活動	文化振興課	0	13,570	7,233	0.0	9.9	9.9	91,186			
0810		一般	北海道博物館管理運営費	北海道博物館(本館)、北海道開拓の村、自然ふれあい交流館の管理運営(指定管理業務)	文化振興課	0	406,487	406,102	0.0	1.9	1.9	421,383	②	改善(指標分析)	【施策目標の達成状況・事務事業の有効性】 ※基本評価調査<二次政策評価>参照
0811		一般	開拓の村費	開拓の村の維持管理運営等に関する業務(委託料)	文化振興課	0	2,297	2,297	0.0	0.3	0.3	4,649	②	改善(指標分析)	【施策目標の達成状況・事務事業の有効性】 ※基本評価調査<二次政策評価>参照
0816		一般	樺太記憶継承事業	(一社)全国樺太連盟から委譲された資料の保管、調査研究を行うとともに、展示等に活用し、文化振興を図る。	文化振興課	0	6,708	0	0.0	0.2	0.2	8,276			
0834		一般	北海道博物館特別展	縄文遺跡の価値・魅力を全道に広め、縄文遺跡への来訪を促進する特別展開催に係る経費(北海道博物館特別展の開催)	文化振興課	0	10,000	10,000	0.0	1.1	1.1	18,624			
0835		一般	野幌森林公園エリア活性化・拠点化事業(文化観光拠点施設機能強化等事業)	「北海道歴史・文化・自然「体感」交流空間構想」に基づき展示改修等を行い、コロナ禍で減少したインバウンド需要の再取得を目指すための経費	文化振興課	0	19,525	6,508	3.0	1.8	4.8	57,157	②	改善(指標分析)	【施策目標の達成状況・事務事業の有効性】 ※基本評価調査<二次政策評価>参照
0836		一般	縄文世界遺産活用促進プロジェクト事業費(創生交付金)	世界文化遺産に登録された「北海道・北東北の縄文遺跡群」の適正な保存と活用を図るとともに、国内外に向けて、その価値を広く発信する。	文化振興課	0	53,542	51,342	5.0	0.0	5.0	92,742	①	改善(指標分析)	【施策目標の達成状況・事務事業の有効性】 ※基本評価調査<二次政策評価>参照 【施策の緊急性・優先性・事務事業の有効性】 ※基本評価調査<二次政策評価>参照
0818		一般	「北海道みんなの日」活動事業費	「北海道みんなの日」(愛称:「道みんなの日」)を広く道民や観光客に周知・定着させるため、各部署及び民間企業と連携した事業及びPR活動を実施	道民生活課	0	2,070	2,070	0.2	0.0	0.2	3,638	③	改善(指標分析)	【施策目標の達成状況・事務事業の有効性】 ※基本評価調査<二次政策評価>参照
計						0	535,851	507,204	8.7	35.5	44.2				

